

令和8年度第1回稲毛区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

日 時 令和8年7月29日(水)13時30分～14時30分

場 所 稲毛保健福祉センター3階 大会議室

出席者 委員 19名(欠席6名)

事務局 8名

傍聴人 0名

【1】次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議題(1)令和7年度稲毛区推進計画の進捗状況について
議題(2)稲毛区支え合いのまち推進協だより NO.33 について
- 4 その他
- 5 閉会

【2】開 会

- ・委員定数25名のうち6名の欠席を確認して開会した。
- ・開会にあたり、青木稲毛区長より挨拶が述べられた後、新任委員の紹介が行われた。
- ・事務局より会議の公開について説明がなされた。

【3】議事要旨

<議題(1)令和7年度稲毛区推進計画の進捗状況について>

千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所石毛副所長より、各地区部会へのヒアリングに基づく令和7年度推進計画の進捗状況について、資料を基に説明が行われた。

- ・重点取組項目として選定された49項目について、達成が23、概ね達成が26と、多くの取り組みが計画に沿って進められた。
- ・地区部会における共通の課題として、「担い手の高齢化」「慢性的な人材不足」がある。

主な質疑応答・情報交換等は以下のとおり。

(菊地委員)

私が一番関心あるのが地域の資源を活かした居場所づくり。

地区部会でも地域イベントというのを開催されています。稲毛地区部会のふれあい広場が具体的にこういったことをされていて、こういった地域資源と連携しているのか伺いたい。

(関谷委員)

ふれあい広場は公民館を貸し切って2月に開催し、昔遊びなど工作しています。

また調理室でカレーライス作って食べています。

あとは、いきいきサロンや子育てサロンも公民館にて開催しています。

スタッフも地区部会でボランティアを募り、スケジュールを組んで交代で対応しています。

(小谷委員)

私も関心があるのが居場所づくりのところでの「場所」です。

小中台東地区部会ではサロンがたくさん開かれていて、緑ヶ丘地区部会では自治会館があるところではいきいきサロンが開催できるが場所を持たないところはなかなか難しい。

そのため、地区全体のサロンを公民館でできるとよいと考えています。

先ほど、稲毛地区部会では公民館でカレー作りという話がありましたが、公民館は飲食禁止だと、場所を探すのが難しく、皆さんどうされているのか。

子どもの居場所づくりも考えているが、そのような拠点もなかなか難しい。皆さんどう探されているのか。行政のほうも情報があれば提供いただきたい。

(石橋委員)

小中台東地区部会は恵まれていて、ほとんどの町内自治会で自治会館を持っており、そこでいきいきサロンを開催しています。子育てサロンについては、小中台西地区部会と協力して稲毛保健福祉センターで開催しており、また、菊地委員に協力いただき小中台地域福祉交流館で開催するなど、場所に恵まれているので、苦労したことがなく申し訳ないです。

(関谷委員)

基本的には稲毛公民館でも飲食禁止ですが、年2回の高齢者対象の食事会も調理室を借りて実施しています。実施にあたり、スタッフには腸内細菌検査を実施しています。

公民館は調理室で作ったものは構わない、買ってきたものは食べられない、と聞いています。

そのため、ご飯を炊くのも大変とスタッフから伺っています。

(社会福祉協議会稲毛区事務所猪野所長)

少し変わった取り組みとして、施設や空き家のスペースを借りてサロンや子ども食堂を開催している地区部会もあり、こういったものも社会資源の一つと考えております。

(眞智委員長)

千葉市のほうで空き家バンクみたいなものがあつたかと思いますが、調べてみます。

※後日調べたところ空き家バンクは令和8年3月で終了。その旨は小谷委員に連絡済。

(森委員)

草野地区部会では昨年4月から子ども食堂を立ち上げ毎月1回第3土曜日の18時から20時まで開催しています。会場は廃業されたクリーニング店のスペースを建物の所有者のご厚意で電気代なども無料にて使わせていただいております、大変助かっています。

(草壁副委員長)

障害者に対する地域の関わり方がすごく大変だと感じていて、その中で、本日は欠席されていますが、轟・穴川地区部会における障害者施設への運営支援について、どのように関わっているのか伺ってみたい。

(井出委員)

稲毛区は知的障害のある方の通所施設が他区より多い傾向にあります。

障害者施設としても地域の方と関わりを持ちたいということでバザーや避難訓練など一緒に活動されているかと思います。

(社会福祉協議会稲毛区事務所猪野所長)

轟・穴川地区部会の地域内にある社会福祉法人オリーブの樹が運営している事業所のマルシェやお祭りなどのイベントに、ボランティアなど人的な協力、交流、更には助成金の支援を行っているとのこと。

(石橋委員)

山王地区部会の買い物支援サービス「ドライブサロン」について、どのようにしたら47回で211人もの支援ができるのか伺いたい。

(佐久間委員)

毎週火曜日の午前中、近隣の介護施設、ソレイユ千葉北から車と運転手の協力を無料で受けています。地区部会のスタッフが同乗し、参加者宅を回り、スーパーに向かいます。1回あたり6人が限度です。現地にもスタッフが人数分のカゴとカートを持って待機しています。一緒に回って買い物支援をしています。元気で一人で暮らすためには、自分に合ったものを吟味して買って、食事をしているからなのではないかと勉強させていただいています。今は食料品ですが、そのうち衣料品店も行きたいと思っています。協力員は全体で16人ほどおります。

<議題(2)稲毛区支え合いのまち推進協だより NO.33 について>

事務局より、稲毛区支え合いのまち推進協だより NO.33 について、資料に基づき説明が行われた。

10月1日付の発行で、部数は5,500部を予定しており、町内自治会をはじめ、あんしんケアセンターや区内公民館等公的施設に配布・配架する予定。

また、千葉市のホームページにおいてアップロードを予定。

必要があれば増刷等も可能なため、配布・配架先があれば事務局に連絡いただきたいと説明。特に意見や質問等はなく、発行について承認を得た。

【4】その他

事務局より、令和8年度第2回目の会議は令和9年2月26日(金)開催予定の旨、開催案内は令和9年1月中旬頃発送予定の旨の説明を行った。

また、千葉開府900年事業周知リーフレット等、配布資料の説明を行った。

【5】閉 会